

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「SDGs の推進」

提出日 2021年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)企画担当理事・学長
村田 治
(総合企画部)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略 (テーマ名)	統轄部署
8 学校経営	(12) SDGs の推進	総合企画部

内容

2015年の国連サミットにおいて全会一致で決められたSDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) は2030年までに実現すべき17のゴール、169のターゲットからなる国際社会共通の目標である。地球温暖化による気候変動や生物多様性の喪失など地球環境の急速な悪化や格差の拡大等は人類の持続性にかかわる21世紀最大の課題として認識され、ESG (Environment, Society, Governance) 投資の拡大と相まって政府、企業、NGO、機関投資家等が連動しながら中心的な課題として取り組み始めており、大学においても例外ではない。関西学院大学は、「人間と自然の共生、人間と人間の共生」をテーマとした総合政策学部が1995年に開設したのを機に、国連ニューヨーク本部で実践を学ぶ「国連セミナー」(旧国連研修セミナー)、UNHCR 駐日事務所と提携した難民を対象とした入試、国連ボランティア計画と連携した国連ユースボランティア(旧国際学生ボランティア)、国連・国際機関の職員を輩出することを目的とした大学院副専攻「国連・外交コース」の開設など、国連と連携した取り組みを数多く展開してきた。

関西学院は世界各地を巡って医療伝道に生涯を捧げたW.R.ランバス博士をモデルに「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成をミッションとして掲げており、SDGsは学院の教育理念と共通していることから、国際社会とともに取り組みを本格化すべく、企画担当理事の下に「SDGs推進本部」を設置した。また、「関西学院大学SDGs宣言」を制定し、現状に関する検証・マッピングや今後の具体的な行動計画「Mastery for Service' for SDGs Initiatives」を策定し、推進する。

また、国連大学SDG大学連携プラットフォームや、関西SDGsプラットフォーム等に参画し、多様な組織と連携して進める。

加えて、高等部が採択された文部科学省WWL (World Wide Learning) コンソーシアム構築支援事業で「AI活用forSDGs」をテーマとするなど、学院全体としてもSDGsの理解を深めていく。

【フェーズⅠのTotal Review】

- ・2019年度、SDGs推進本部を設置した。
- ・「関西学院大学SDGs宣言」を行い、国連大学SDG大学プラットフォーム、関西SDGsプラットフォームに参画している。
- ・KSCでのペットボトル削減の取組みに加え、省エネやくるみん認定などに取り組んでいる。
- ・2021年度、NUCの全学科目「SDGsスタディーズ入門」、KSCの総合教育科目「SDGs実践入門」を開講する。

【フェーズⅡに向けた課題】

- ・KSCにおける「サステナブルエネルギーの一大研究拠点の構築」の推進
- ・KSCのサステナブルキャンパス実現への具体策検討
- ・SDGs推進に向けたさらなる具体策の検討

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「SDGsの推進」

提出日 2021年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)企画担当理事・学長
村田 治
(総合企画部)

指標 1

指標	内容					
指標名	スクールモットーの浸透度 ※4-(2)「関西学院のアイデンティティ共有」と共通					
定義・算式	① 児童・生徒：学校評価での設問：「スクールモットーの認知度」 ② 学生：共通学生調査（IR1年生調査）の項目「あなたはスクールモットーの意味を説明できますか」の「説明できる」の割合 ③ 教職員：アンケートの開発が必要 ④ IR卒業生、卒業1年目調査における設問「スクールモットーを普段意識する程度は？」の「常に行動の規範としている」の割合*2019年より回答項目変更「常に意識している」					
現状値 (指標設定時)	① 児童・生徒：設問なし、②学生：24.4%、③教職員：－、④卒業生：－					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	－		－		① 児童・生徒：100% ② 学生：80% ③ 教職員：100% ④ 卒業生：60%	
実績値	2019年度	①90.5% ②37.6% ③－ ④－	2022年度		2025年度	
	2020年度	①92.8% ②35.6% ③－ ④－	2023年度		2026年度	
	2021年度		2024年度		2027年度	

指標 2

指標	内容					
指標名	本学のイメージ（高校生、高校教員） ※8-(11)ブランド戦略と一部共通					
定義・算式	1. リクルート社カレッジマネジメント「ブランドイメージ調査」の特定3項目（社会で役立つ力が身につく、国際的なセンスが身につく、先進的な）において関関同立でトップの項目数 2. 大学通信による、全国の進路指導高校教員に聞いた「グローバル教育に力を入れている」における順位					
現状値 (指標設定時)	1. 0個 2. 7位(2016年)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	N/A(現状程度)		1. 2項目 2. 6位		1. 3項目 2. 6位	
実績値	2019年度	1. 0個 2. 10位	2022年度		2025年度	
	2020年度	1. 0個 2. 10位	2023年度		2026年度	
	2021年度		2024年度		2027年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「SDGs の推進」

提出日 2021年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)企画担当理事・学長
村田 治
(総合企画部)

2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究科での 取組み有/無	帳票の 有無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	SDGs に関する取組の発信 (統括分野)	総合企画部	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
②	SDGs の推進 (教育分野)	国際連携機構	必要⇒【選択型】 (学部・研究科が任意で取組みを選択)	無	3年間			3年間			3年間		
③	SDGs の推進 (研究分野)	研究推進社会連携機構	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
④	SDGs の推進 (経営分野)	総務部	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
⑤	SDGs の推進 (KSC 分野)	神戸三田キャンパス事務室	必要なし	無	3年間			3年間			3年間		
<p>【備考欄】</p> <p>SDGs に対する本学学生の関心を高め、学生の活発的に取り組むを促すこと、学生や学生団体等の個別の SDGs の取り組みを融合・連携させることでソーシャルインパクトを高めること、他大学や自治体、企業などとも連携し、本学の活動や取り組みを学内外に展開すること、本学の取組の発信などを目的とし、SDGs 推進に向けて関心の高い学生を組織化しプラットフォームを形成する。学生プラットフォームは SDGs 推進本部と連携する学生組織として位置づけ、学生の活動内容の把握や支援、SDGs WEEK の開催等大学として総合的に活動を支援する。</p> <p>なお、SDGs への積極的な取り組みが求められる昨今の社会状況の中、本学の SDGs の取り組みをいっそう促進するとともに、本学の教育・研究・学生の主体的な活動における情報を収集し戦略的に発信し本学のブランド価値を高めるため、また、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリション」等の新たな取組を推進するため、担当の副学長を定め、専任となる学長補佐を配置するとともに事務局体制も整備し、総合企画部に専任職員、契約職員各1名を配置する。(なお、契約職員については8-(12)-② SDGs の推進 (教育分野) で計上している職員を総合企画部に配置する。)</p>													

※想定される実施計画の例示

- ① SDGs に関する取組の発信 (統括分野)
- ② SDGs の推進 (教育分野)
- ③ SDGs の推進 (研究分野)
- ④ SDGs の推進 (経営分野)
- ⑤ SDGs の推進 (KSC 分野)

※ロードマップ策定作業用記号

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「SDGsの推進」

提出日 2021年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)企画担当理事・学長
村田 治
(総合企画部)

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019年度～2027年度)

◆フェーズⅠ：2019年度～2021年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019年度	2020年度	2021年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022年度～2024年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022年度	2023年度	2024年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025年度～2027年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025年度	2026年度	2027年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計(経費+人件費)			

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ①東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第1版を発行し、好評を得た。 ②「(仮称)SDGsスタディーズ」新設へ向けた検討を行った。 ③研究者DBにおいて、各研究テーマとSDGs17のゴールとの関連性を明示するとともに、検索機能を改修した。 ④子育てサポート企業「くるみん認定」を受けた。 ⑤ごみ排出量減少のための「オリジナルマイボトル」の具現化に向けた検討を行った。
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ①統括部門 東洋経済ムック「SDGsに取り組む大学」第2版を発行し、好評を得た。 ①統括部門 SDG大学連携プラットフォーム、関西SDGsプラットフォーム大学分科会、内閣府地方創成SDGs連携プラットフォームに参画し、本学のSDGsへの取組発信や情報収集を行った。 ②教育部門 「SDGsスタディーズ入門」新設へ向けた具体的な検討・調整を行った。 ③経営部門 「第1回 日経大阪梅田エリアSDGsフェスティバル」に参加し本学の取組を発信した。 ④研究部門 「研究者データベース」の情報登録者割合実績：19.8% SDGs Ideathon等の開催 ⑤KSC部門 企業と連携した「オリジナルマイボトル」の開発やBiZCAFE設置等を行った。 <p>2022年度よりさらに積極的に本学におけるSDGsの取り組みを推進するため、担当の副学長を定め、専任となる学長補佐を配置するとともに事務局体制も整備し、総合企画部に専任職員、契約職員各1名を配置し、本学の教育・研究・学生の主体的な活動における情報を収集し戦略的に発信するほか、「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学コアリッション」等の新たな取組を推進する。学生によるキャンパスSDGsサポーター(仮称)を設置し、学生の主体的な活動を推進・支援する。(なお、契約職員については8-(12)-②SDGsの推進(教育分野)で計上している職員を総合企画部に配置する。)</p>
2021年度	
2022年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票 テーマ「SDGs の推進」

提出日 2021年 8月 24日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	企画担当理事・学長 村田 治 (総合企画部)
-----------------------	------------------------------

2023 年度	
2024 年度	
2025 年度	
2026 年度	
2027 年度	